

(様式 4)

【日高町】

1 人 1 台端末の利活用に係る計画

1. 1 人 1 台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

令和の日本型学校教育において、「一人ひとりの児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となるようにすること」が求められる中、本町では、1 人 1 台端末端の整備当初から、これまでの教育活動に ICT を取り入れ、ICT を日常化するため、「とにかく使ってみる」ことで ICT の効果的な活用について研究を行ってきた。その中で、デジタルの良さとともに、アナログのよさも踏まえ、これまでの実践と ICT とを組み合わせることで効果的に使うことを目指してきた。

1 人 1 台端末を活用した「個別最適な学び」で、一人一人の子供の特性・学習進度・学習到達度等に応じ必要に応じた指導方法・教材等の工夫を行う「指導の個別化」や、一人一人の子供の興味・関心・等に応じた学習活動や課題に取り組む機会の提供を行う「学習の個性化」を実現し、子どもが自己調整しながら学習を進めていくことや、「協働的な学び」を通して一人一人のよい点や可能性を活かし、異なる考え方を組み合わせることでよりよい学びにつなげることを目指す。

2. GIGA 第 1 期の総括

令和 2 年度に 1 人 1 台端末をはじめとした ICT 環境の整備を行ったところである。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、児童生徒の登校が十分に行えない状況下や、病気での長期欠席、不登校の児童生徒に対してのオンラインでの授業配信に取り組んできている。

また、一人一人の学習進度に合わせて課題に取り組むことができるドリル教材や、児童生徒が端末を使って自分の考えをまとめたり発表したりできる授業支援ソフトウェア等の整備を行い、多種多様なデジタルコンテンツを活用し、主体的・対話的で深い学びの実現を目指している。

しかし、ICT 活用をすすめる中で、学校間や教員間の格差も生じてきている。また、令和 6 年度の全国学力・学習状況調査の児童生徒対象の質問調査では、「ICT 機器をどの程度使用しましたか」の問いに対して、「毎日」、「週 3 日以上」

と回答した児童生徒の割合が全国平均や県平均と比べて低く、町全体として ICT の活用に課題があると言える。そのため、令和 6 年度には町教育委員会主催の ICT 活用研修会を実施し、教職員の意識改革にも取り組んでいるところであり、研修実施前と比較し、授業支援ソフトウェアの活用率が上昇するなどの成果が見られてきている。今後も基礎的な知識や操作研修を含む教職員一人一人の情報活用能力を高める研修を継続し、ICT を効果的に活用しながら学びの質を向上させていきたい。

3. 1 人 1 台端末の利活用方策

(1) 1 人 1 台端末の積極的活用

- ・令和 6 年度に実施したネットワーク回線の接続速度実測を踏まえ、各校の状況に応じて校内のネットワーク環境を見直していく。
- ・教員間の情報活用能力の格差是正のため、教職員のスキルアップ研修を毎年度実施する。
- ・学校間、学校と教育委員会での資料や提出書類等のクラウド上でのやりとりを積極的に行う。

(2) 個別最適・協働的な学びの充実

- ・1 人 1 台端末環境を引き続き維持しながら、学習支援ソフトやデジタル教科書、大型ディスプレイでの画面共有などを活用し、児童生徒一人一人の考えを共有したり、共同編集するなどして個別最適な学び・協働的な学びを充実させる。
- ・授業だけでなく、家庭学習においてもドリル教材等を活用し、児童生徒が自分自身にあった進度で主体的に学習を進められるような環境整備を行う。

(3) 学びの保障

- ・不登校や病気療養中の児童生徒、特別な支援を要する児童生徒の実態に合わせ、双方向型のオンライン授業配信や課題の配信・提出等を継続して実施することにより、「誰一人取り残すことのない教育」を目指す。